

第203回簿記能力検定試験

上級 商業簿記 解答速報

問題1

(単位:円)

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	減価償却費	320,000	備品減価償却累計額※	320,000
(2)	① 構築物	20,000,000	現金	20,000,000
	② 減価償却費	4,000,000	構築物減価償却累計額※	4,000,000
	③ 取替費	300,000	当座預金	300,000
	④ 減価償却費	2,000,000	構築物減価償却累計額※	2,000,000
(3)	構築物減価償却累計額※	56,000	構築物	280,000
	固定資産廃棄損	224,000		
	構築物	300,000	当座預金	300,000

※「減価償却累計額」でも可。

仕訳1組につき各4点 合計28点

問題3

閉鎖残高

(単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	[1,241]	支払手形	1,200
当座預金	62,800	買掛金	1,480
受取手形	20,300	短期借入金	4,800
売掛金	[4,800]	退職給付引当金	[7,565]③
売買目的有価証券	[5,300]	社債	[40,000]
繰越商品	[39,775]③	貸倒引当金	[562]③
建物	[58,400]	建物減価償却累計額	[48,000]
備品	3,500	備品減価償却累計額	[3,122]③
土地	132,800	資本金	100,000
長期貸付金	[1,700]	資本準備金	22,000
関連会社株式	[1,260]	利益準備金	11,500
その他有価証券	[3,800]	繰越利益剰余金	[93,603]
社債発行差金	[1,150]③	その他有価証券評価差額金	[300]③
未収利息	[5]③	未払社債利息	[500]
前払広告宣伝費	[500]③	未払法人税等	[490]③
消耗品※	[3]③	未払給料	[2,100]③
	[]	未払利息	[112]③
	[]		[]
	[]		[]
	[]		[]
	[337,334]		[337,334]

※「貯蔵品」でも可。

問題 2

(単位：円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
(1)	現 金	320	自 己 株 式 その他資本剰余金	300 20
(2)	現 金 その他資本剰余金	290 10	自 己 株 式	300
(3)	270			

予想配点：各 4 点 × 3 = 12 点

問題 3

損 益

(単位：円)

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕入	[153,000]	売上	280,000
広告宣伝費	[700]	受取利息	[30]
給料	[38,100]	受取配当金	56
消耗品費	[55]	雑益	[15] ③
支払利息	[336]		[]
社債発行費	720		[]
旅費交通費	[317] ③		[]
貸倒引当金繰入	[292]		[]
有価証券評価損	[100] ③		[]
投資有価証券評価損	[100] ③		[]
棚卸減耗損	[600]		[]
商品評価損	[1,625]		[]
減価償却費	[6,378]		[]
減損損失	[1,600] ③		[]
社債利息	[550] ③		[]
退職給付費用	[1,265]		[]
法人税等	[900]		[]
関連会社株式評価損	[1,340] ③		[]
繰越利益剰余金	[72,123] ③		[]
	[]		[]
	[]		[]
	[280,101]		[280,101]

予想配点：各 3 点 × 20 箇所 = 60 点

問題1

	正誤	理 由
1.	○	
2.	×	科目ごとに減価償却累計額を控除する方法を原則とするが、減価償却累計額を一括して控除する方法、または減価償却累計額を控除した残額のみを記載する方法によることもできる。
3.	×	最善の見積りを行わなかったことにより引当金の残高が存在する場合は過去の誤謬に該当するため、修正再表示を行う。
4.	○	
5.	×	未認識数理計算上の差異のうち当期に費用処理された部分については、その他の包括利益の調整(組替調整)が行われる。
6.	○	
7.	○	
8.	×	識別可能性の要件を満たす限り、その企業結合日の時価に基づいて資産として計上する。
9.	×	その他有価証券の時価が著しく下落した場合には、回復する見込みがあると認められる場合を除き、その時価を翌期首の取得原価とする。
10.	○	

予想配点：各4点

問題2

問1

問1	株主との間における株主資本の増減取引である資本取引と、株主資本の利用による損益取引とを区別すること で適正な期間損益計算を行うためである。	
問2	(1)	資本準備金 ○ その他資本剰余金
	(2)	○ 利益準備金 その他利益剰余金
問3	欠損てん補のために、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替える場合	
問4	その他利益剰余金を資本金に振り替える場合	
問5	利益剰余金から資本準備金への振替え	
	資本剰余金から利益準備金への振替え	

予想配点：各5点 問2は各5点、問5は両方正解で5点

- 別解 問1 「利益隠ぺいや粉飾決算を防止するため」といった解答でも可。
 問4 「その他資本剰余金の負の残高をその他利益剰余金から減額する場合」でも可。
 問5 「その他利益剰余金から資本準備金への振替え、その他資本剰余金から利益準備金への振替え」でも可。
 「繰越利益剰余金からの配当で資本準備金の積立て、その他資本剰余金からの配当で利益準備金の積立て」といった解答でも可。

問題3

問1

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー
方法①	利息の受取額	○		
	配当金の受取額	○		
	利息の支払額	○		
	配当金の支払額			○
方法②	利息の受取額		○	
	配当金の受取額		○	
	利息の支払額			○
	配当金の支払額			○

予想配点：各3点

問2	方法①は、損益計算に関連する受取配当金、受取利息及び支払利息の三者と、損益計算と関係しない支払配当金を区別するという考え方に依拠している。
問3	方法②は、投資活動の成果と財務活動上のコストとを区別するという考え方に依拠している。

予想配点：問2 6点、問3 6点